

【改善箇所説明図】

不具合発生箇所：

車両後方下部に搭載するリアアクスルオシレーション部のトラニオン固定ボルトに取り付けられるワッシャ。ワッシャを組み付けずにボルトが締め付けられている可能性がある。

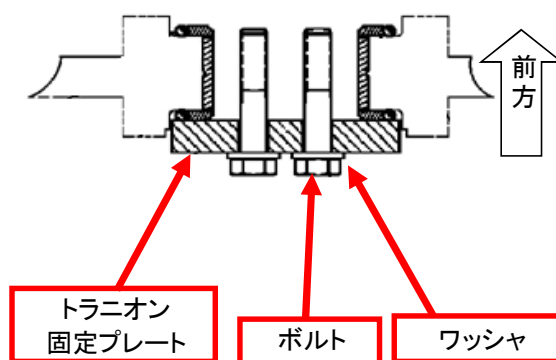


※車両後部より



※各赤枠は点検/交換する部品を示す。

車両上面図（アクスルオシレーション部）



※車両後部より(拡大)



【基準不適合箇所】

ショベルローダの製作工程における作業が不適切であったため、リアアクスルのトラニオン固定プレートを取り付けるボルトにワッシャが組み付けられていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトのトルクが緩み、ボルトの折損や脱落が発生し、トラニオンがフレームから脱落するおそれが生じる。

【改善措置の内容】

全車両、当該部位のワッシャ有無を点検する。

点検の結果、ワッシャが組み付けられていなかったものは、新品のボルト、トラニオン固定プレートに交換しワッシャを組み付ける。

識別：改善実施済み車については、キャブ後面ガラス左下、又は、左支柱下にNo.3297のステッカーを貼付する。